



園だより

4月号



4月の聖句

初めに、神は天地を創造された

創世記 1章 1節

進級、新入おめでとうございます。

昨年12月の初めに有志のお家の方々に植えていただいた花壇の花の苗。寒い時期は小さい苗のままじっとしているような様子でしたが、段々と暖かくなるにつれて成長を早め、今、見事に咲き誇っています。背の高いムラサキハナナ、その下にはキンセンカやクリサンセマム、またその下にはパンジーやワスレナグサ。白や紫、濃淡ある黄色で彩られ、その場所で花の色もみんな違って綺麗に咲いています。子どもの成長も同じように、まだ小さい苗ですが、神さまから与えられたそれぞれの個性がこの園で花開くように、一人ひとりに寄り添い、教職員一同心を合わせて、その成長を支えていきたいと思ひます。

新年度が始まって新しいバッジをつけて期待に胸をふくらませて登園してきた子どもたち。一方でやっと慣れたクラスの先生やお友達と離れ不安を抱えていたり、初めてお家の人と離れての生活に戸惑ってしまう子もいると思ひます。子どもたちにとって新しい環境に慣れるための大切な時です。お家の方々と連絡を取り合いながら、園が安心して過ごせる場所になるように配慮していきたいと思ひます。何かありましたら、遠慮なく担任や園までご相談ください。一緒にお子さんの成長を支えていきましょう。今年度もどうぞよろしくお願ひします。



さふらんでは毎月聖書の中の言葉を覚えて朝のお祈りの時間に暗唱しています。今月の聖句は聖書の最初に書いてある言葉です。すべてを創られた神さまの大きな愛に包まれて「いつも元気で、みんななかよく」これからの園生活を過ごしていきたいと思ひます。ます。どうぞよろしくお願ひします。

